

太田家住宅朝宗亭の修理を早急に行うことを求める要望書

文部科学大臣 松野 博一 様

2017年7月21日

日本共産党広島県議会議員

辻 恒雄

日本共産党福山市議会議員団

村井 明美

高木 武志

土屋 知紀

河村 晃子

広島県福山市の景勝地、鞆の浦の中心部に位置する太田家住宅朝宗亭は、1804年に竣工され、1991年に国の重要文化財に指定された歴史的建造物です。通りを挟んで立つ「太田家住宅」の別宅で、鞆七卿落遺跡として、広島県の史跡指定もされています。

ところが現状は老朽化がひどく、屋根の大棟が崩れかけ、雨漏りや壁の崩落、さらに塩害で柱の根が傷み、建物の基礎が揺らいでいます。

そのうえ、シロアリ被害が追い打ちをかけており、早急に大規模な修理が求められます。

福山市からは、文化庁が承認した文化財建造物保存技術協会に対し、職員の派遣を再三要請し、調査を依頼していますが、「未だに、連続した調査日程が取れない」という状況が続いている、とのこと。

このままでは、早晚、太田家住宅朝宗亭は崩落しかねません。

そのため、「太田家住宅朝宗亭」の早急な修理をお願い致します。

以上を踏まえ、以下の項目を要望します。

【要望項目】

1. 文化財建造物保存技術協会等の専門調査員を早急に派遣するよう、手立てを尽くすよう要望いたします。

1. 太田家住宅朝宗亭の現状把握を早急に行い、修理のための予算措置を講じて頂くよう要望いたします。

1. 文化財の保存・活用のための予算を抜本的に増額するよう要望いたします。

以上